

「支援介助法」とは、発達障害や知的障害の人がパニックを起こした時の誘導方法として開発された介助技術です。その技術は自分も相手も傷つけないことを基本として、身体に負担を掛けない力の使い方や、相手の力を利用すること、またあまり意識しない身体的能力を生かす方法などを駆使して考えられています。特に特別支援学校などでパニックになった子どもに有用ですが、落ち着きのない子や高齢者の介護、リハビリテーションにも活用できます。

「第二巻・実践編」

＜幾つかの実体験のケース＞

- ・椅子から立ち上がらない
- ・道路に飛び出す
- ・からだの大きな子が突進してきた



＜様々な問題行動への対応例＞

- ①正面から押してきた
- ②腕を強く引っ張られた
- ③噛みついてきた
- ④爪で引っ掻く
- ⑤髪の毛を掴んできた
- ⑥殴り掛かってきた
- ⑦蹴ってきた
- ⑧衣服を掴んできた
- ⑨強く抱きついてきた
- ⑩物を投げつける
- ⑪けんかの仲裁
- ⑫しゃがみこんで動かない

「先生と親御さんと障害のある子ども達の全身全霊を傾けたコミュニケーション…互いの身も心も愛で守るために生まれた技術なのですね!」

推薦文:漫画「ヘルプマン!」作者 くさか里樹

監修:齋藤富由起(千里金蘭大学生活学部児童学科准教授)

監修:守谷賢二(淑徳大学教育学部こども教育学科講師)

指導・監修:廣木道心(LL医療福祉専門学校講師/国際護道連盟宗家)

表装イラスト:HIROKI OGA

撮影協力:淑徳大学・埼玉キャンパス

定価:本体 15,000円(税別)

2013年9月製作<70分>

【製作・著作】

株式会社アローウィン

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-12-5 セブンビル501

tel 03-3361-6789 fax 03-3361-6776

URL <http://arowin.net> e-mail contact@arowin.net

このDVDを権利者に無断で複製、放送、公開上映などに使用することは法律で禁じられています。

支援介助法

実践編 第2巻

障害のある人への痛みを与えないパニック対応スキル

障害のある人への痛みを与えないパニック対応スキル 

支援介助法

第2巻
実践編

